デジタル田園都市国家構想交付金事業実績

資料３

タイプ　地方創生推進タイプ（横展開型）
事業名　公民連携の強化によるリノベーションまちづくりの発展的事業
担当課　まちづくり政策課

＜事業の概要＞

これまでの取組を通じて事業化案件が一定数集積する重点エリアに、遊休不動産を活用した実事業をさらに集約し、事業間連携を促すとともに、前面道路など公共の空間や施設の活用・再編に取り組み、事業効果の面的展開や公民連携の取組の深化を図る。

また、外部専門家依存の脱却を目指して地元人材の育成及び活用を進めるとともに、起業を志す者が集い・学び・交流できる場の提供や、求人・求職双方への支援強化によるＵＩＪターンニーズへの対応などに取り組み、持続的に人材輩出される仕組みを構築し、民間主導による自立・自走化を実現する。

＜計画期間＞　令和元年度から令和５年度（５年間）

＜令和元年度の事業実績＞

事業費（交付額）　28,667,452 円（13,889,221 円）
リノベーションスクールの開催、公民連携手法による公共施設・公共空間の利活用、新仲見世商店街アーケード撤去後の道路空間再編に向けた設計・測量、女性や高校生向け起業セミナーの開催、就職応援サイト「ぬま job」の運営、就職説明会の開催

＜令和２年度の事業実績＞

事業費（交付額）　21,620,052 円（10,751,451 円）
リノベーションまちづくりのエリア展開支援、公共空間を活用した定期マーケットの創出支援、女性やターゲット別起業セミナーの開催、就職応援サイト「ぬま job」の運営、就職説明会の開催

＜令和３年度の事業実績＞

事業費（交付額）　26,107,113 円（13,048,936 円）
リノベーションまちづくりのエリア展開支援、公共空間を活用した定期マーケットの自走化支援、女性やターゲット別起業セミナーの開催、テレワーク導入セミナーの開催、就職説明会の開催

＜令和４年度の事業実績＞

事業費（交付額）　25,913,687 円（12,869,163 円）
リノベーションまちづくりのエリア展開支援、公共空間を活用した定期マーケットと連動したまちなか情報発信、遊休不動産を活用したまちなか居住の促進、女性やターゲット別起業セミナーの開催、ダイバーシティ経営＆テレワーク導入セミナーの開催、就職説明会の開催

＜令和５年度の事業実績＞

事業費（交付額）　25,045,019 円（12,522,509 円）
リノベーションまちづくりのエリア展開支援、公共空間を活用した定期マーケットと連動したまちなか情報発信、遊休不動産を活用したまちなか居住の促進、女性やターゲット別起業・フォローアップセミナーの開催、キャリアデザインセンター運営、就職説明会の開催

＜数値目標及び実績＞

	事業開始前		R1	R2	R3	R4	R5	KPI 増加分の累計
本事業を通じて増加した従業者数	18 人	目標	22 人	28 人	34 人	40 人	46 人	170 人
		実績	39 人	30 人	26 人	31 人	50 人	175 人
本事業を通じて増加した居住者数（※ＵＩＪターンによる就職者数を含む）	13 人	目標	20 人	28 人	44 人	52 人	60 人	204 人
		実績	14 人	17 人	28 人	27 人	27 人	113 人
まちなか重点エリアにおける歩行者通行量の増加率（地点：新仲見世商店街南交差点、基準：2014～2018 の５か年平均）	100％	目標	0％	0％	11％	11%	11%	11％
		実績	67％	-8.29％	-45.51%	-37.34%	-43.46%	-13.52%
まちのコーディネーターの支援による起業件数	1 件	目標	4 件	7 件	10 件	13 件	16 件	50 件
		実績	5 件	9 件	10 件	15 件	20 件	59 件

＜事業全体の評価＞

従業者数と起業件数については計画目標数値を達成したことは、本事業で展開してきた各種施策や、構築してきた人的ネットワークが、後に続く起業者等に確実に届き、起業等に結びついたものと考えられる。特に人的ネットワークの広がりは自立的なものとなっており、今後も継続した展開が期待できるものとなった。

一方、居住者数、歩行者通行量については計画目標数値に及ばなかった。これは、本事業が生んでいる起業創業等の状況がなかなか可視化されず、より多くの一般市民や市外の方々に「沼津で新しい動きが起こっている」ということが伝わらなかったと考えられる。

全体としてコロナ禍もあった中では、一定の効果を示したと考えているが、より多くの方に伝えるための検討を実施する必要がある。

タイプ　地方創生推進タイプ（横展開型）
事業名　「フェンシングのまち沼津」推進を契機とした観光・地域産業活性化によるスポーツツーリズム推進事業
担当課　ウィズスポーツ課

＜事業の概要＞
行政、競技団体、観光協会等の関係団体による「フェンシングのまち沼津推進協議会」を立ち上げ、観光とフェンシングを楽しめるツアーパックの企画や、市内企業・学校とコラボレーションしたフェンシング関連グッズの開発、市内への競技普及啓発と競技人口の拡大、シンボルとなる有望選手の育成などに取り組み、フェンシングの拠点都市として本市のブランドを確立させるとともに、フェンシングを通じたスポーツツーリズムによる交流人口の拡大を図り、地域産業の活性化に繋げる。

＜計画期間＞　令和２年度から令和６年度（５年間）

＜令和２年度の事業実績＞

事業費（交付額）　4,234,677 円（1,885,097 円）
Proud NUMAZU CUP フェンシング選手権 2020 小学生大会の開催、フェンシングのまち沼津 PR 動画やロゴマークの制作、シンボルフェンサーの育成、競技環境の整備

＜令和３年度の事業実績＞

事業費（交付額）　13,364,446 円（2,969,778 円）
拠点施設となる F3 BASE の運営、日本代表合宿の開催（複数回）、全国大会の開催、オリジナル T シャツの販売、スマートフェンシングの指導者育成パッケージの作成

＜令和４年度の事業実績＞

事業費（交付額）　7,136,685 円（3,568,341 円）
拠点施設となる F3 BASE の運営、日本代表合宿の開催（複数回）、全国大会の開催、フェンシングガイドブックの作成、スマートフェンシングの指導者講習会の開催

＜令和５年度の事業実績＞

事業費（交付額）　8,183,130 円（4,091,564 円）
拠点施設となる F3 BASE の運営、日本代表合宿の開催（複数回）、全日本選手権大会の開催、フェンシングオリジナルグッズの作成、スマートフェンシングの指導者講習会の開催

＜今後の計画＞

令和６年度	拠点施設となる F3 BASE の運営、日本代表合宿の開催（複数回）、大人向けフェンシング体験会の開催、スマートフェンシング機材の購入、スポーツ指導者確保に向けた講演会、域内消費キャンペーン

＜数値目標及び実績＞

	事業開始前		R2	R3	R4	R5	R6	KPI 増加分の累計
フェンシング大会及び合宿の開催に伴う観光交流客数	0 人	目標	120 人	90 人	60 人	1000 人	150 人	1,420 人
		実績	451 人	709 人	280 人	4,560 人		6,000 人
沼津市で開催されるフェンシング大会及び合宿実施回数	3 回	目標	3 回	1 回	2 回	3 回	1 回	10 回
		実績	10 回	1 回	1 回	8 回		20 回
フェンシング大会及び合宿参加者への購買調査結果	0 千円	目標	2,400 千円	100 千円	1,100 千円	2,500 千円	1,000 千円	7,100 千円
		実績	1,200 千円	1,200 千円	3,620 千円	2,990 千円		9,010 千円
市フェンシング Facebook ページの投稿記事の年間閲覧人数	10 千人	目標	8 千人	6 千人	6 千人	3 千人	1 千人	24 千人
		実績	72 千人	16千人	0 人	0 人		88 千人

＜令和５年度の実績評価＞

拠点施設（F3 BASE）を活用した合宿や全国規模の大会開催により、観光交流客数は順調に増加している。大会については継続的に開催し、「フェンシングのまち沼津」のブランドとともに関係者への定着を図りたい。

また、令和 5 年度には初めて全日本選手権大会を開催したことにより大幅な観光交流客数増加につながった。一方、Facebook については頭打ちの状態になっており、効果的な情報発信方法を再度見直す必要がある。

タイプ　地方創生推進タイプ（横展開型）
事業名　複業人材を活用したDX推進による市内産業の魅力向上プロジェクト
担当課　産業政策課

＜事業の概要＞

行政をはじめ、金融機関・商工団体により構成された相談窓口を設置し、企業のDX化のための支援体制を強化し、経常的に企業と複業人材をつなげるマッチングが可能な体制づくりを図る。また本事業を通じてDX化を図る企業の取組等を「複業を通じた当市でのビジネスチャンス」の発信の契機と捉えプロモーションを図ることで、感度の高い市外企業などを市内でDXに取り組む企業の視察ツアーや当市のコワーキングやサテライトオフィスの整備環境等の視察を通じて誘引し、効率的な企業誘致へとつなげる。

域外からの人材・企業誘引へと注力するとともに、誘致企業と市内デジタル人材のマッチングによる人材流出の防止や、市内企業を対象とした社内のデジタル人材育成講座を開催することで、域内での人材確保・育成を図る。

＜計画期間＞　令和５年度から令和７年度（３年間）

＜令和５年度の事業実績＞

事業費（交付額）　1,343,100円（671,550円）
複業人材マッチング支援対象企業向けワークショップの開催

＜今後の計画＞

令和６年度	複業人材による勉強会開催、市内体験型視察ツアー開催

＜数値目標及び実績＞

	事業開始前		R5	R6	R7	KPI 増加分の累計
本事業を通じてDXに取り組んだ市内企業数	0	目標	5社	10社	15社	30社
		実績	3社			3社
沼津市内体験型視察ツアーへの参加社数	0	目標	0社	15社	30社	45社
		実績	0社			0社
本事業を通じて当市で拠点を開設した企業	0	目標	2社	3社	4社	9社
		実績	2社			2社
沼津市デジタル人材育成プログラムへの参加	0	目標	0社	15社	30社	45社
		実績	0社			0社

＜令和５年度の実績評価＞

令和5年度のKPIについては概ね達成。本年度の複業人材マッチング支援事業は、複業人材と企業経営者とのマッチング支援として実施したものの、DX等の社内変革については、複業人材と企業経営者間の問題だけではなく、企業の幹部社員など社内全体での理解や取組も必要であるとの意見が多くあった。次年度以降のKPI達成に向け、先述した意見をもとにさらに実施内容をブラッシュアップさせていく必要がある。

タイプ　デジタル実装タイプ（TYPE1）
事業名　住民異動手続きに係るスマート窓口事業
担当課　市民課

＜事業の概要＞
引越しやライフイベントの窓口手続きにおいて、平均でも30分を超える手続きが多くみられ、手続き時間の短縮が課題となっている。そのため、来庁しなければできない住民異動等の手続きに関して、事務の効率化と更なる市民サービスの向上を図ることのできるスマート窓口システムを導入し、市民が手書きで記入している住民異動届等をＯＣＲ読み取りやタブレット端末を利用することにより、市民に「書かない」窓口サービスの提供を行う。

＜計画期間＞　令和５年度（１年間）

＜令和５年度の事業実績＞

事業費（交付額）　21,549,572円（10,774,786円）	
スマート窓口導入業務委託、サービス利用料及び運用支援、タブレット端末やバーコードリーダー購入	

＜数値目標及び実績＞

	事業開始前		事業開始後	利用率
転入 所要時間	平均25分	目標	20分	100%
		実績	平均19分	95%
転居 所要時間	平均20分	目標	17分	100%
		実績	平均17分	95%
転出 所要時間	平均20分	目標	17分	100%
		実績	平均17分	90%

＜事業全体の評価＞
計画通りスマート窓口システムの導入が完了し、KPIについて所要時間は達成することができたが、混雑時は、スマート窓口用タブレット端末が設置されていない窓口で対応せざるを得ない状況や、窓口が空くまでの待ち時間に異動届を記入してもらう方が結果的に早く手続きが完了するなど、完全書かない窓口の実現には、まだまだ運用上の課題が残る。
導入事業としては令和５年度で終了となるが、今後も目標値以上の手続き時間の短縮や、市民ニーズに合わせたスマート窓口対応手続きの拡大を検討し、市民サービスの向上を図る。